



別府市で土産品を製造・販売する会社が食品ロスを減らすためにさまざまな工夫をしています。

① 「食品ロス」の意味を知っていますか？書いてみましょう。

.....売れ残りや食べ残し、賞味期限切れの食品など、本来は食べることができたはずの食品が廃棄されること。

② 土産品の会社が食品ロスを減らす取り組みをしているのはなぜでしょう？

.....新型コロナウイルスの影響で出荷先の宿泊施設や観光施設が休業し、大量の在庫が生じたから。

③ どんな取り組みをしていますか？二つ書いてください。記事に出ている会社の関係者は何と話していますか？

.....賞味期限の迫る食品を大幅に値下げ  
.....高齢者施設や困窮する学生への支援物資に充てる  
.....「利益は出ないがロスは減らせる。応援の声も届き、ありがたい」など。

④ 食品ロスを減らすため、あなたや家族に何ができるか考えてみよう。

.....買い物する時に買いすぎない、料理を作りすぎない、外食する時に注文しすぎない、などいろいろ考えてみよう。

## 別府の土産品製造・販売会社



# 大幅値下げ 支援物資に

## 食品ロス削減へ工夫

JR別府駅構内の土産物店「ボン・マルセ」で製品を直売している日光食品（石垣東）。各施設から回収した商品を定価の半額などで販売している。「地獄です」「OS」など苦境をユーモラスに表現したポップを店頭で設置。地元だけでなく、市外から買いに来た人もいたという。

森竹智則営業部長（43）は「4月の売り上げは前年の5%。大幅に値下げしても、地元の皆さんに購入していただければ普段は口にしない地元土産の味を知ってほしい」と話す。



別府市で土産品を製造・販売する会社が食品ロスを減らすと懸命だ。新型コロナウイルスの影響で出荷先の宿泊施設や観光施設が休業し、大量の在庫が生じた。緊急事態宣言の解除後もすぐに観光客数の回復は見込めそうにない。賞味期限の迫る商品を大幅値下げしたり支援物資に充て、無駄にしないよう工夫を凝らしている。

南光物産（北鉄輪）も直売所で割引セールをしているほか、ネット販売に注力。看板商品の「ぎぼん漬」を含めた詰め合わせセットなどをアピールしている。原口智成社長（38）は「利益は出ないがロスは減らせる。応援の声も届き、ありがたい」と話す。

2020年5月28日付 大分合同新聞 26面

（山田直彦）